

○議長（茅沼隆文）

続いて日程第7 認定第7号 決算認定について（水道事業会計）及び日程第8 議案第35号 平成29年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、を合わせて細部説明を担当課長に説明を求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

認定第7号 決算認定について。地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成29年度開成町水道事業会計歳入歳出決算は、別冊のとおりにつき、監査委員の意見をつけて認定を求めます。

平成30年9月4日提出、開成町長、府川裕一。

1枚おめくりください。議案第35号 平成29年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。平成29年度開成町水道事業会計未処分利益剰余を別冊のとおり処分する。よって地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会の議決を求める。平成30年9月4日提出、開成町長、府川裕一。

こちらの議案につきましては、別冊の開成町歳入歳出決算書の280ページにあります。平成29年度開成町水道事業剰余金処分計算書案になります。内容の説明は後ほど決算認定の説明の中で御説明をいたします。

恐れ入りますが決算書の285ページをお願いいたします。

平成29年度開成町水道事業報告書の概要を朗読いたします。1、概況、（1）総括事項、平成30年3月31日現在の給水装置使用数は前年度比2.57%増で190個増の7,579個、給水人口は前年度比0.91%増で157人増の1万7,501人となりました。年間有収水量は給水人口増の影響や事業所の使用水量が増加したため、前年度より1万7,582立方メートル増の200万9,124立方メートル、1日平均給水量は前年度より48立方メートル増の5,504立方メートルで、前年度比0.88%の増でした。

増設改良事業は、町道119号線外配水管布設工事に伴う舗装工事及び県道720号線配水管布設工事を行いました。増設改良事業は、高台第一浄水場着水井及びポンプ室耐震補強工事、高台第一浄水場配水流量計更新工事、榎下浄水場配水池水位計改造工事、第5水源地自家発電施設新設工事、下水道工事に伴う町道230-2号線支線配水管布設替工事等を行いました。

営業収支では、事業収支収益全体としては、2億4,839万5,731円、前年度比3.63%の増となりました。事業支出全体は1億8,703万1,158円、前年度比1.54%減となりました。結果として、事業収益が事業支出を上回ったことにより、相対としては、6,136万4,573円の純利益となりました。

決算書の272ページにお戻りください。平成29年度開成町水道事業決算報告書です。（1）収益的収入及び支出の収入です。第1款水道事業収益です。予算額2億6,097万1,000円に対し、決算額は2億6,594万7,107円で、予算額に比べ、497万6,107円の増収です。第1項営業収益、補正予算額303万

円は、給水収益の減額と施設建設に伴う給水工事加入金の増額です。予算額2億4,079万2,000円に対し、決算額は2億4,490万8,597円で、411万6,597円の増収です。

第2項営業替収益、予算額1,017万9,000円に対し、決算額は2,103万8,510円です。85万9,510円の増収です。

次に、支出です。第11款水道事業費用、予算額2億6,097万2,000円に対し、決算額は1億9,765万7,127円で、執行率は76.7%です。不用額は6,331万3,873円。

第1項営業費用、補正予算額62万3,000円の増額は、職員の給与等です。予備費支出額187万1,409円は、主に有形固定資産償却費等の不足分です。予算額1億7,290万409円に対し、決算額は1億6,768万381円で、不用額は522万28円です。

第2項営業外費用、予備費支出額107万6,000円は、主に消費税の不足分です。予算額3,014万2,000円に対し、決算額は2,997万5,234円で、不用額は16万6,766円です。

第3項予備費、補正予算額267万7,000円は、主に営業収益の補正に伴う増額です。予備費支出額は294万8,921円となり、予算額は5,729万7,079円となりました。決算額はゼロ円です。

第8項特別損失は1件の還付による過年度損益修正損で1,512円を予備費から充用しました。

続きまして、274ページをお開きください。(2)資本的収入及び支出の収入です。第2款資本的収入です。予算額4,839万円に対し、決算額は4,793万3,860円で、予算額に比べ45万6,140円の減収です。

第1項分担金、補正予算額650万8,000円は、配水管布設分担金の減額です。予算額720万2,000円に対し、決算額は690万7,860円で、29万4,140円の減収です。

第2項負担金、予算額118万8,000円に対し、決算額は102万6,000円で、16万2,000円の減収です。

第5項企業債、予算額4,000万円に対し、決算額も同額の4,000万円です。

次に、支出です。第12款資本的支出、予算額1億8,814万9,000円に対し、決算額は1億7,437万7,283円で、執行率は92.7%です。不用額は1,377万1,717円。

第1項建設改良費、補正予算額100万円の減額は、工事請負費の減額です。予算額880万円に対し、決算額は831万9,240円で、不用額は48万760円です。

第2項増設改良費、補正予算額593万8,000円の減額は、主に排水施設整備工事費の減額です。補正予備費1,714円は、職員の法定福利費が不足したため補てんしたものでございます。予算額1億1,593万2,714円に対し、決算額は

1億564万925円で、不用額は1,029万1,789円です。不用額の主な要因は入札の執行残です。

第3項企業債償還、予算額6,041万8,000円に対し、決算額は6,041万7,118円で、不用額は882円です。

第4項予備費は、予算額299万8,286円で、決算額はゼロ円です。なお欄外に記載しています金額は、資本的収入額が資本的支出額に対し不足が生じたので、公営企業会計処理方法により補てんしたものでございます。

それでは、説明書112、113ページお開きください。収益的収入の水道事業収益、給水収益の水道使用料は平成29年度に調停した件数は4万5,011件です。平成29年4月の水道料金改定により、前年度より1,770万8,000円の増収となりました。受託工事収益は給水工事課入金です。206件の新規加入の水道加入金です。前年度より785万円の減収です。その他の営業収益の手数料は、給水工事設計審査や、水道料金徴収等の手数料です。前年料理16万1,000円の増収です。

雑収入は、仮設メータ賃借料、仮設メータ水道使用料、検満メータの売却費などです。

他会計負担金は、379基の消火栓の維持管理費です。

営業外収益、受取利息及び配当金は、定期預金、国債、県民債などに係る預金利子です。

長期前受金戻入益は、減価償却費のうち補助金等で取得しました部分の戻入益で、会計上の歳入です。

雑収益は、東京ガスからの小田急線軌道敷地下埋設用地使用料になります。

資本的収入になります。資本的収入、分担金、配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替工事に係る分担金です。前年度より27万2,000円の増収です。

負担金、他会計負担金、消火栓設置費負担金は、消火栓ボックス交換1基、消火栓及びボックス更新を1基に係る負担金です。前年度より33万3,000円の減収です。

企業債、企業債は、配水管布設工事に3件に係る企業債で、地方公営企業団体機構より2件です。

次の114ページ、115ページをお開きください。歳出になります。収益的支出から御説明いたします。

水道事業費用、営業費用、1目原水浄水配水及び給水費は、水質検査、滅菌装置、保守点検及び電気設備保安等の委託、漏水当番経費や給・配水管の維持管理等の工事を実施いたしました。

2目受託工事費は、金井島地区の空気弁補修工事や制水弁周辺の舗装補修工事を行いました。前年度より33万2,000の減です。

3目総係費は、水道事業運営上全般に要する費用で、テレメータの回線利用による浄水場の監視等による効率的な水道事業事務を行いました。

4目有形固定資産償却費は、建物、構築物、機械及び装置等の有形固定資産の減価

償却経費です。

5目資産減耗費は、流量計などの棚卸資産や、下水道工事に伴う配水管撤去、第一浄水場着水井及びポンプ室耐震補強工事や、第一浄水場流量計更新工事等に伴う構築物機械及び装置の除却経費です。

営業外費用、1目支払利息は、平成29年度当初企業債残高10億9,040万2,000円に対する利子返済分です。前年度より171万4,000円の減です。

3目雑支出は、支出がありませんでした。

特別損失、1目過年度損益修正損は、水道使用料の過年度水道使用料還付1件分でございます。

続いて、資本的支出です。資本的支出、建設改良費、1目拡張事業費は、県道720号線配水管布設工事、町道119号線舗装補修工事を行いました。前年度より322万8,000円の増です。

増設改良費、1目配水施設整備工事費は、高台第一浄水場着水井及びポンプ室耐震補強工事、第5水源池自家発電施設新設工事、ほか3件の浄水場設備の更新工事と下水道工事に伴う町道230-2号線配水管布設替工事ほか2件を行いました。

また、消火栓及び消火栓ボックス更新工事1カ所、消火栓ボックス交換工事1カ所を行いました。前年度より839万5,000円の増です。

2目メータ費は、計量法に基づき770件の検満メータの取替工事と、963のメータを購入いたしました。

企業債償還金、1目企業債償還金は、平成29年度当初、企業債残高10億9,040万2,000円に対する元金返済です。前年度より362万8,000円の減となっております。

説明書最後に、資料4で、平成29年度の工事箇所を添付してありますので、後ほどご覧ください。

恐れ入りますが決算書の276ページをお願いいたします。平成29年度開成町水道事業損益計算書です。なお、全ての収益と費用は税抜きで記載しております。

1の営業収益は、水道料金給水工事課入金が主なものであり、営業収益は2億2,732万5,607円です。

2の営業費用は、水道工事を運営する上で、施設管理費や事務的経費、有形固定資産の減価償却、資産減耗費であり、営業費用の合計は1億6,563万412円です。営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は6,169万5,195円です。

3の営業外収益は、受取利息長期前受金戻入と雑収益が主なもので、収益合計は2,107万124円です。

4の営業外費用は、企業債の支払利息が主なもので、その合計は2,139万9,234円です。経常利益は6,136万6,085円となります。

5の特別損失は、(1)過年度損益修正損の1,512円です。当年度の純利益は、経常利益から特別損失を差し引きました、6,136万4,573円となりました。この純益に、前年度繰越利益剰余金3,121万2,873円を加えた9,257万

7, 4 4 6 円が当年度末処分利益剰余金となります。

2 7 8 ページをお願いいたします。平成 2 9 年度開成町水道事業剰余金計算書です。表上段の前年度末残高は、資本金の自己資本金が 1 4 億 2, 8 9 6 万 3, 0 7 4 円です。借入資本金と剰余金の資本剰余金は計上がありません。

利益剰余金の減債積立は、4, 8 1 1 万円、建設改良積立金が 7, 5 0 0 万円です。繰越利益剰余金 8, 1 2 1 万 2, 8 7 3 円を加えた、利益剰余金合計は 2 億 4 3 2 万 2, 8 7 3 円となり、前年度末の資本合計は 1 6 億 3, 3 2 8 万 5, 9 4 7 円です。前年度処分の利益剰余金は平成 2 8 年度議決により・・積立に 4, 0 0 0 万円、建設改良積立金に 1, 0 0 0 万円積立をいたしました。処分後残高は減債積立金が 8, 8 1 1 万円、建設改良積立金が 8, 5 0 0 万円、未処分利益剰余金が 3, 1 2 1 万 2, 8 7 3 円です。当年度の変動額は当年度純利益が 6, 1 3 6 万 4, 5 7 3 円が、未処分利益剰余金として計上され、資本合計は前年度期末残高 1 6 億 3, 3 2 8 万 5, 9 4 7 円、当年度変動額の利益剰余金合計 6, 1 3 6 万 4, 5 7 3 円を加えた 1 6 億 9, 4 6 5 万 5 2 0 円。

2 8 0 ページをお願いいたします。平成 2 9 年度開成町水道事業剰余金処分計算書案です。こちらが議案 3 5 号となります。

当年度末処分利益剰余金 9, 2 5 7 万 7, 6 6 6 円から企業債償還に充てる減債積立金を 1, 1 8 9 万円、建設事業に充てる建設改良積立金を 4, 8 1 1 万円とし、残金の 3, 2 5 7 万 7, 4 6 6 円を翌年度繰越利益剰余金とする案とさせていただきます。

次に、2 8 2 ページをお開きください。平成 2 9 年度開成町水道事業貸借対照表について御説明いたします。資産の部です。1、固定資産は（1）有形固定資産のイの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計 2 6 億 6, 6 3 3 万 8, 1 2 0 円、と（2）無形固定資産のイ、電話加入権 2 1 万 3, 0 4 0 円と、（3）投資その他の資産、イ、リサイクル預託金 9, 1 3 0 円加えた固定資産合計が 2 6 億 6, 6 5 6 万 2 9 0 円です。

2、流動資産は、（1）現金預金から（3）貯蔵品の流動資産合計が 6 億 5, 1 8 7 万 9, 0 4 8 円です。

資産合計は、固定資産合計と流動資産合計を加えた 3 3 億 1, 8 4 3 万 9, 3 3 8 円です。

2 8 3 ページをお願いいたします。次に、負債の部です。（3）固定負債は、（1）企業債と（2）引当金のイの修繕引当金の合計 1 0 億 1, 5 8 1 万 9, 8 6 8 円です。

4、流動負債は（1）一時借入金から（4）引当金の合計 8, 3 2 4 万 3, 1 1 8 円です。

5、繰延収益は、（1）の長期前受金のイからコの合計 5 億 2, 4 7 2 万 5, 8 3 2 円となり、負債合計は固定負債合計、流動負債合計と繰延収益合計を加えた 1 6 億 2, 3 7 8 万 8, 8 1 8 円です。

2 8 4 ページをお願いいたし。資本の部です。6、資本金は（1）の自己資本金の

イの固有資本金からハの出資金の合計１４億２，８９６万３，０７４円、７、剰余金の（１）資本剰余金は、平成２６年度からの決算から会計制度の変更に負債の部の繰延収益に移行いたしましたので、会計上の額はありません。

（２）利益剰余金は、イの建設改良積立金からハの未処分利益剰余金を加えた２億６，５６８万７，４４６円です。資本金合計は資本金合計と利益剰余金を合わせた１６億９，４６５万５２０円となり、負債と資本を合わせた負債資本合計は３３億１，８４３万９，３３８円です。

最後に２８９ページをお願いいたします。平成２９年度開成町水道事業キャッシュフロー計算書です。

１、営業活動によるキャッシュフロー。（１）の当年度純利益の６，１３６万４，５７３円と（２）の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整のイの有形固定資産減価償却費からコの営業活動以外による資産及び負債の増減額までの小計１億８，４１８万８４４円に受取利息及び配当金受入額、支払利息及び事業債取扱諸費の支払額を加えた金額が営業活動から得た現金預金純額として１億６，３００万２，８９８円になります。

次にニの投資活動によるキャッシュフローです。（１）の固定資産の取得による支出、建設改良費と（２）上記（１）実施に関わる負担金収入の合計が投資活動から得た現金預金純額となります。９，９１０万８９８円のマイナスとなります。

次に３の財務活動によるキャッシュフローです。（１）の企業債の発行と（２）の企業債償還の合計が財務活動から得た現金預金純額となり、２，０４１万７，１１８円のマイナスとなります。

４の現金預金及び現金等価物増加額減少額は、１の営業活動から得た現金預金純額、２の投資活動から得た現金預金純額と３の財務活動から得た現金預金純額の合計４，３４８万４，８８２円の増額となります。

５の現金預金及び現金等価物期首残高５億７，１８９万８６円を加えた、６の現金預金及び現金等価物期末残高は６億１，５３７万４，９６８円となります。この金額は、２９７ページにあります、預金現金金融機関別明細書の預金現金高の合計と同額となります。

説明は以上です。

○議長（茅沼隆文）

これで認定第７号 決算認定について（水道事業会計）及び議案第３５号 平成２９年度改正下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての説明を終了いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。なお、明日７日金曜日は休会となります。よって、１０日の月曜日に一般会計決算の質疑を行いますので、御承知おきください。

本日はこれにて散会いたします。

お疲れさまでした。

午後 3 時 3 8 分 散会